

シルバー狭山

THE SAYAMA SILVER HUMAN RESOURCES CENTER

公益社団法人(埼玉県知事認定)
狭山市シルバー人材センター

〒350-1304
狭山市狭山台1丁目21番地
電話 04(2935)4312
FAX 04(2999)6116
e-mail sayama@sjc.ne.jp
<https://webc.sjc.ne.jp/sayama/>

設立40周年記念号



北浦和公園の噴水『夏の終わり』

武藤 茂 氏 提供

2022

9

SEP

- | | |
|----|---|
| 目次 | ● 表紙(写真と目次)..... (1) |
| | ● 事業普及啓発促進月間..... (2) |
| | ● 理事会・定時総会..... (3) |
| | ● 新任理事・退任理事紹介..... (4) |
| | ● 働く仲間・市道クリーン作戦..... (5) |
| | ● 私・入間川七夕まつりへの出展を終えて..... (6) |
| | ● 親睦会活動報告(バス旅行)..... (7) |
| | ● 新会員紹介・お知らせ&文芸コーナー・写真文章の募集..... (8) |
| | ● 狭山市シルバー人材センター設立40周年記念特集..... (9)～(16) |

公益社団法人 狭山市シルバー人材センター事業普及啓発促進月間

令和4年10月1日から10月31日
『シルバー人材センターの役割』



副理事長
室井 豊

「事業普及啓発促進月間」の活動が全国のシルバー人材センターにて10月1日から10月31日にかけて一斉に実施されます。

この活動は

① 地域の方々・行政機関の関係者の方々にシルバー人材センターの存在を知っていただき、その内容を理解していただく。

② シルバー人材センター未介入の高齢者に対し、入会を勧誘する。

ことを目的としています。シルバー人材センターは昭和50年「高齢者事業団」として発足し、その後日本各地に広がり名称を「シルバー人材センター」と統一し、現在に至っています。

この当時のセンターの役割は、60歳以上の高齢者に就業の機会を紹介する事でしたが、その後約50年弱の月日が経過

し、センターの役割も又、センターへの周囲の期待する事柄も徐々に変化してきていると考えます。また、社会情勢も変化し70歳まで企業に勤める状況となつてきております。当然、シルバー人材センターへの加入年齢も高齢化しております。

現在の狭山市シルバー人材センターは、会員数が1000名より1100名で推移し、平均年齢も74歳となつており、今後ますます高い年齢になると思われます。

ある雑誌に「元気で幸せな老後を送るためには、3つの必要なものがある。」

1つ目は健康、2つ目は社会とのつながり、3つ目はお金をそこそこ稼げること、との事です。

定年後、本格的に働くのは難しいけれど何もしないで家にいるよりは、地域のためになり、少しお金も得られるなからありがたい。そんな働き方がシルバー人材センターでは可能と考えます。

厚生労働省は、2020年度より75歳以上の後期高齢者に対し「フレイル検診」を実施しております。フレイルとは「虚弱」を意味し、体やこころの機能の低下によって要介護に陥る危険性が高まっている状態を言います。つまり「健康な状態」と「要介護」の中間の状態を「フレイル」と呼びます。

当狭山市シルバー人材センターでは現在、就業の機会を紹介することを基本としながら、認知症予防のための「フレイル予防教室」の開催、会員自身の心身機能・体力を知っていただく「心身機能・体力測定会」等を実施し会員の健康増進をまた、健康寿命を延ばすためのバックアップをしております。

また、親睦会が発足しハイキング、バス旅行などを実施しております。今年から有志による各種のサークルも立ち上がってきております。

このようにシルバー人材センターは、就業の機会を紹介

するだけでなく、会員の健康寿命を延ばすこと。すなわち健康なシニアを増やすためのお手伝いをする事とも、また「シニアの居場所」としても、シルバー人材センターの役割と考えております。

「定年後、なにをしようか？」と考える人は多いかもしれません。そんなときの選択肢のひとつが60歳以上の「ちよこつと就労」。余裕のある時間を使い、社会と自分のために、無理なく働けるシルバー人材センターを利用してみませんか。

会員の皆さん、近所のお仲間、間にシルバー人材センター入会への声かけを心掛けていただければと思います。

残りの人生、シルバー人材センターを上手に利用し楽しく過ごしていただきたいと思います。

理事会

第1回理事会 4月19日(火)

◎議題

- (1)正会員の入会の承認について
- (2)特別会員の承認について
- (3)未回収金の処理について
- (4)令和3年度収支補正予算について
- (5)公益社団法人狭山市シルバー人材センター自動車使用規定の一部改正する規定(案)
- (6)その他

◎報告

- (1)会員の3月入会承認結果について
 - (2)3月度事業実績について
 - (3)2月度月次収支報告について
 - (4)部会報告
 - (5)常勤理事の職務執行状況報告
 - (6)令和4年度市道クリーン作戦について
 - (7)その他
- 議題については、全て承認。

第2回理事会 5月11日(水)

◎議題

- (1)役員候補者の選定について
 - (2)令和3年度収支補正予算について
 - (3)令和3年度事業報告について
 - (4)令和3年度監査報告について
 - (5)令和3年度決算について
 - (6)令和4年度定時総会に予定される報告及び議案について
- ア、監査報告

- 1、令和3年度監査報告について
- イ、報告事項
- 1、令和3年度収支補正予算について

- 2、令和3年度事業報告について
- 3、令和4年度事業計画について
- 4、令和4年度予算について

ウ、議案

- 第1号議案
令和3年度決算について
 - 第2号議案
役員選任について
 - (7)表彰者の選定について
 - (8)令和4年度定時総会の役割分担について
 - (9)その他
- 議題については、全て承認。

第3回理事会 6月14日(火)

◎議題

- (1)正会員の入会の承認について
- (2)令和4年度収支補正予算について
- (3)6月支給に係わる期末手当の支給率について

第4回理事会 6月21日(火)

◎議題

- (1)正会員の入会の承認について
 - (2)令和4年度収支補正予算について
 - (3)6月支給に係わる期末手当の支給率について
 - (4)理事・監事の会員就業について
 - (5)その他
- 報告
- (1)5月度事業実績について
 - (2)5月度月次収支報告について
 - (3)部会報告
 - (4)廃棄文書について
 - (5)その他
- 議題については、全て承認。

令和4年度

定時総会

令和4年度定時総会が、6月14日(火)午後元氣プラザ大会議室

に於いて、大阿久理事の司会進行で行われました。今年度の総会も昨年に引き続きコロナ禍の為、異例の開催となりました。

報告事項・決議事項の議案説明に先立ち、牛窪監事より令和3年度の監査報告がありました。

本総会に提出された議事は

- 1、報告事項
- (1)令和3年度収支補正予算について

- (2)令和3年度事業報告について
 - (3)令和4年度事業計画について
 - (4)令和4年度収支予算について
- 2、決議事項
- (1)令和3年度決算について
 - (2)役員を選任について

以上について、議長、清原理事長のもと、神山事務局長、山本理事から詳細な説明が有り、採決の結果いずれも原案通り承認され、定時総会は無事終了しました。



定時総会時に行った
新任理事・重任理事による理事会の風景



定時総会の風景

新理事・監事紹介

新理事挨拶



新理事
吉崎 篤

この度、理事に就任いたしました狭山市役所福祉部の吉崎と申します。微力ではございますが、会員の皆様の生きがい充実を目指すシルバー人材センターの発展に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



新理事
小沢 万司

6月の総会にて入間川西地区担当の理事になりました小沢です。シルバーでの活動経験浅い私ですが、会員皆様のご指導、ご支援の下、微力ながらより良いシルバー事業のため活動させていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。



新理事
神岡 守忠

この度理事を拝命し、身の引き締まる思いです。少子高齢化が進む中で、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要であると考えます。事務局諸先輩方のご教授を賜り、又会員の皆様のご意

見を賜りながら、微力ではございますが努めます。よろしくお願ひいたします。



新理事
中谷 勝己

この度、理事という大任を任命されました。未だ、仕事の内容を充分理解できていませんが、諸先輩のご指導をいただき、皆様に役立つよう職務を果たしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



新理事
土田 盈

平成22年に会員になってから10年余、この度、理事という大役の推薦を頂きましたが、務まるか心配しております。皆様のお力添えを得ながら、頑張っていけますので、よろしくお願ひ致します。



新理事
宮澤 弘子

令和4年度総会にて理事を拝命致しました宮澤でございます。自分になが出来るのか自問自答の日々ではございますが、女性目線ではか気づかない事が多々有る

令和4年度 部会名簿一覧表

部会	構成員
総務 財政	◎中谷勝己 ○小沢万司 清原英雄 室井 豊 神山孝之
就業	◎神岡守忠 ○山本八四郎 宮澤弘子 室井 豊 神山孝之
安全	◎小口辰夫 ○兼平春雄 室井 豊 神山孝之
広報	◎近藤俊則 ○土田 盈 室井 豊 神山孝之

※◎部会長 ○副部会長

退任理事・監事紹介

理事 湯浅 宗彦
理事 五十嵐則之
理事 新井きよ子
理事 丸山 重雄
理事 大阿久芳胤
監事 牛窪 忠洋



新監事
三ツ木 正幸

現役時代は主に高齢者福祉・介護の分野の仕事に携わってました。監事には、組織運営を客観視することが求められ難しい立場ですが、役員の一員として微力ながらもお役にたてれば幸いです。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

と、思い、より良い職場環境に成るべく尽力致したく思っております。諸先輩方のご指導宜しくお願ひ致します。

シルバー人材センター運営に携わる役員一覧表

監	理	常務理事 兼事務局長	副理事長	理事長
三ツ木正幸	吉崎篤	神山孝之	室井豊	清原英雄
岩田光伸	中谷勝己	小沢万司	近藤俊則	小口辰夫
土田盈	山本八四郎	兼平春雄	宮澤弘子	神岡守忠

働く仲間

トヨタ洗車G



入間川東2班
村山 賢治

会員の皆様こんにちは。暑い夏も過ぎ、ようやく過ごし易い季節が近づいてきました。体調は如何でしょうか。体に気を付けて頑張りましょう。

私は今年11月で会員になり5年になります。家内も同時に入会して、元気に頑張っています。

会員になって直ぐ紹介されたのが今もお世話になっている狭山台のトヨタカーローラ新埼玉(株)狭山台店です。

仕事の内容は点検・整備の後、お客様にお返しする前に洗車を行います。濡れた車体の水分をきれいに拭き取り、車内を清掃して、タイヤにワックスを塗り、ホイール

をみがくのが主な仕事です。特に難しい仕事ではありませんが、何台も重なるのとけっこう大変です。

車の点検整備にはそれぞれ担当するスタッフがいて、私たちの仕事が終わった後に見て頂くのですが、かならず「ありがとうございます。」と言われます。そういう教育をしているのでしょうか？

今、シルバーから私を含め5人の会員が交代で業務をしています。皆楽しく仕事をしています。

近頃の車は車体が大きくて、タイヤも重く積み下ろしの手伝いですが、結構大変です。会員のみんなと協力して頑張りたいと思っております。



牧野 孝幸



久保 隆治



川上 勝正



中村 稔

令和4年度第1回 市道クリーン作戦



柏原地区委員長
五十嵐 則之

6月4日(土)、5日(日)は、地区委員長として最後のクリーン作戦となった。直近ではコロナ禍の為、変則的な実施となり、今回の実施に当たり色々と考えてみた。先づ、参加者が従来通り参加してくれるのかを心配した。参加者が少数の場合、2日間で目的が達成出来るか？

作業として「草取りと袋詰め・掃除」に分けて考えてみた。例年草取りに対し、回収・掃除が遅れる。これを変える必要がある。どうするか。草取者に対して回収・掃除の容易化をお願いする。

①草取り時土を払う。
②草をまとめて置く。
③草の置き場を少なくする。

結果的に熊手のみで袋詰めをする結果として、草取りと回収・袋詰めを一体化する。そうして草取り人員を増やす事になり、作業進行が早くなるのではないかと！

6月3日の午後、当日使用するトラックを下見・道具・備品等を確認した。

6月4日朝6時出発トラックに乗り替え、集合場所に向かった。未だ誰も来ていない。早速、ポトに麦茶の用意。全員集まって来た点呼、やはり参加人員が1割程

少ない。やるしかない。一般的な注意事項のあと、作業の順序・方法を説明し、協力をお願いした。

作業は順調に進んだ。作業途中除草した草の散らかりが見られたので、改めて協力をお願いした。第1日目は終了。3割程度残ってしまった。

ミーティングで、2日目は今日の続きではなく、別の場所である事を改めて説明した。又、3日目があるかもしれないと伝えた。

6月5日は皆さんの出足が早かった。時間前より作業を開始した。人員が揃う迄進行方向左側への除草をお願いした。

作業は順調に進み10時頃終了。第1日目の残りの場所へ移動して作業開始。

参加皆さんの協力により30分の超過がありました。予定の場所は全て完了した。

2日共真夏の様な暑さの中、トラブルも無く無事終了出来た事が何よりの喜びです。9月の第2回クリーン作戦は、新地区委員長に依る実施となります。何事も無く無事に作業が進む事を願っています。



作業風景



作業後

作業前

私



入間川西地区1班
湯浅 宗彦

老境に入った。格好良く言えば、人生の秋を迎えたことだ。杜甫の漢詩「曲江」の人生70古来稀なりの古希もとつくに過ぎ、この原稿が記事となるころは喜寿も通り過ぎていた。

仏教家に言わせると、人生はいつの日か二つの道の真ん中に立つそう。一つの道は悟りの道、もう一つの道はボケの道。

私のこれまでをかえり見れば、悟りの道はとて無理であり、せいぜい、ボケの道に踏み込まないように、健康に留意し、平凡ではあるが、とみに衰えた脚力を維持するために散歩を励行している。

糖尿病のため、自ら健康に役立つと思われる26項目の運動を仕事のない日には午前中に約1時間、午後にも約1時間行う。55歳で糖尿病の宣告を受けた時から続けている。(ほとんどシルバーのフレイル運動と重なるものである。)

また、わが家は昔から浄土真宗の西本願寺派の檀家であるが、私自身は無神論者である。しかし、井上靖氏の小説「天平の薨」を読んだ時に、幾多の困難を乗り越え

て、盲目となって来日した鑑真和上という昔の偉い唐の坊さんに引き付けられ、おかげで、以来、仏説魔訶般若心経を唱えながら、結跏趺座して座禅を組んでいる。

私は、昭和42年に大学を卒業して西友に入社した。その西友ではがむしゃらに働いた。昇進もしたが左遷もされた。(札幌で7年、また博多天神で4年の経験がある。) 挙句の果てには西友は世界一の流通業に買収され、50歳で在籍出向となった。まさに人生は波乱万丈である。

61歳で現役を退き、誰もが考える悠々自適の生活をしようと思っただが、世の中そううまくはいかない。5年ほど西東京市の田無にオーブンした住居1111世帯という巨大マンションの管理人として勤めた。

その後徒食(仕事を持たず暮らす事)していたが、一か月もすると時間や曜日感覚がおかしくなり、シルバーのお世話になることにした。

シルバーでは、今日の6月14日の総会で個人的な理由を持って、理事の任期を終えた。多くの友人ができて、いろいろの活動をさせていた。高年齢に優しいシルバー人材センターに感謝の言葉を添えて締めとした。事務局の皆さん、そして班長の皆さん、本当にありがとうございました。

入間川七夕まつりへの出展を終えて



堀兼地区委員長
小口 辰夫



入間地区委員長
神岡 守忠

令和4年度入間川七夕まつりが市内七夕通り等で8月6日(土)、7日(日)に開催されました。

オリ・パラ東京大会や新型コロナウイルス感染症の影響で3年振りのまつりとなり、また開催時間の短縮、出店や花火大会の中止等例年とは異なるものとなりました。

シルバー人材センターとしても七夕飾りを出展、参加しました。今年度は入間地区と堀兼地区が合同で担当し、計画の立案、飾りの製作、出展及び撤収までの作業を各地区班長の御協力により、無事終了することが出来ました。

各地区とも七夕まつり出展の経験者が皆無に等しい状況であったため、他地区の経験者の方からご指導を頂き、苦勞しながらもどう

にか乗り切ることが出来ました。

七夕まつりは、狭山市の夏の伝統行事であります。これに出展、参加することにより、シルバーの存在意義を少しでも市民の方々に知って、理解して頂く、良い機会であるものと考えます。

以上、七夕まつりに関する所見です。



入間川七夕まつり



七夕飾り作成作業

親睦会活動報告
首都圏外郭放水路&牛久大仏を巡って来ました。

関東地方が梅雨入りしたばかりの6月8日、曇天の中バス旅に行ってきた。首都圏外郭放水路の調圧水槽は、「防災地下神殿」と呼ばれています。

116段の階段を降りると、幅2m×長さ7m×高さ18mのコンクリートの柱が59本林立しており、「巨大な異空間」に迷い込んだようです。「ワァーすごい!」「お〜きい〜!」と感嘆の声しか出ない程圧倒されました。

昼食も美味しく頂き、車中では、恒例のバス旅クイズをしながら次の目的地、牛久大仏へ。

遠くからでも見える大仏は、見上げると目がくらむ様な高さ120mの青銅製「阿弥陀大仏(本尊は阿弥陀如来)」。エレベータで地上85mの大仏様の胸部展望台まで上がり。夫々、東西南北の窓から四方を見渡し感激しました。

首都圏放水路・牛久大仏と世界に誇る壮大なスケールを堪能した充実の一日でした。

「道の駅庄和」で新鮮な野菜類に魅了され、「守谷SA」では思い思いの沢山のお土産を手に帰路につきました。

シルバー親睦会幹事



旅行に使用したバス



地下神殿入り口



道の駅 庄和



木曽路春日部店で昼食



地下神殿での集合写真



牛久大仏の前で集合写真

親睦会員募集中

詳細については下記までお問い合わせください

親睦会事務局 小島

電話：04-2935-4312

E-mail：sayama-3@sjc.ne.jp

新会員紹介

令和4年4月、
令和4年7月

(班)
(氏名)

堀兼地区 1班	18班	12班	11班	9班	9班	9班	7班	4班	1班	入曽地区 10班	8班	8班	7班	3班	入間川東地区 10班	10班	10班	8班	6班	1班	入間川西地区 10班	
佐々木忠徳	橋山准夫	伊藤智進	武内悦子	朝生晴彦	栗崎藤雅	佐藤保勝	久保勝巳	嶋本満明	清水利男	水谷省二	岸野謙二	平野美恵子	勢登昭男	下村昭強	熊野野浩	佐藤敏	岩井啓一	倉地實	岩澤一忠	中島善廣		

5班	3班	2班	2班	1班	狭山台地区 13班	13班	13班	11班	10班	8班	6班	2班	1班	水富地区 7班	6班	3班	柏原地区 6班	奥富地区 11班	10班	10班	8班	6班	5班	4班	1班	1班
田中道子	為藤子	土田五郎	菅原五郎	鏡塚彰彰	山崎久夫	嶋村崇夫	岩間伸夫	野津利一	小菅三雄	小此木積男	島崎重子	小林成浩	山崎浩	大平彦	伊佐樹	山岸雄	佐藤正	高原吉	高橋美智子	小津島眞理子	津島つや子	原口和子	仁田喜美江	渡辺憲美	橋本芳美	柴田千尋

この広報は地域班長さんの協力により会員みなさんに配付されています。

応募方法

- ①シルバー人材広報部引出しに投函。
- ②広報部 近藤俊則へ連絡。
・携帯 TEL 090-2414-7596
・E-mail tk-paceri@ozzio.jp

- ・シルバー狭山(5月号、9月号、1月号)の表紙を飾る写真を提供お願い致します。
- ・何か面白いお話が有りましたら、原稿600〜700字程度の文章を提供お願い致します。
- ・その他、PRしたい物。

募集のお知らせ

狭山台1班 本多 哲男
水富14班 仁手 唯
水富11班 関中 義男
柏原6班 田松 夫
柏原4班 高松 一
柏原3班 金石 繁
柏原1班 加藤 雄
奥富3班 高藤 宏
入曽8班 高松 要
入間川西2班 田島 稔
入間川西1班 中村 稔

お知らせコーナー

地区新委員長紹介

入間川西地区 中倉 稔
入曽地区 白倉 国男
柏原地区 田中 忠男

地域新班長紹介

入間川西1班 中村 稔
入間川西2班 田島 要
奥富3班 高藤 宏
柏原1班 加藤 雄
柏原3班 金石 繁
柏原4班 高松 一
柏原6班 田松 夫
水富11班 関中 義男
水富14班 仁手 唯
狭山台1班 本多 哲男

文芸コーナー

短歌

○水富2班 大阿久芳胤

シルバーは

寄る辺なき身の置き所
班の仲間と
生きがい語る

幸せの思いそれぞれ

異なるも
働くことで
意義を見出す

働けど楽にはならぬ

わが暮らし
個人投資に 回す金なし

○入間川東3班 近藤俊則

父の日に

花束くれし孫娘
思わず緩む
頬と財布の紐

俳句

○伊藤 薫

古漬けの胡瓜を

刻む妻の留守

一面に落ちた実梅 拾う朝

空豆を三つ四つまとめ
かき揚げに

公益社団法人狭山市シルバー人材センター

設立40周年記念

THE SAYAMA SILVER HUMAN RESOURCES CENTER



シルバー人材センター基本理念

自主(センターを私たちの

ものとして考えます)

自立(センターを私たちの力で

育てます)

共働(私たちは共に

仲良く働きます)

共助(私たちは会員は

お互いに助け合います)

元気プラザ中庭

撮影 広報部 近藤 俊則

2022



目次

- 表紙(写真と目次)..... (9)
- お祝いの言葉
 シルバー人材センター 理事長 狭山市市長..... (10)
 狭山市議会議長 いきいき埼玉理事長..... (11)
- 資料で見る40年
 年表・写真..... (12)～(13)
 会員数の推移・会員の年齢別構成..... (14)
 就業実人員と就業率..... (15)
- 資料から言える事、今後の課題と対応・編集後記..... (16)

祝辞



公益社団法人 狭山市シルバー人材センター 理事長 清原 英雄

設立 40 周年を迎えて

公益社団法人狭山市シルバー人材センターは昭和57年8月に埼玉県知事の許可を受け発足以来40周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様のセンター事業への積極的なご支援、ご協力に感謝申し上げます。

さらに、事業の遂行にあたり、就業の機会を提供して下さった、狭山市、民間企業、市民ご家庭の皆様、また、ご指導ご支援をいただいた関係行政機関の皆様のおかげで、厚く御礼申し上げます。

40年の歴史を振り返るといろいろのことがあったと思いますが、特に、新型コロナウイルス感染症は、当センターも、公共、民間の就業の停止、打ち切り等による影響を受けました。多少ではありませんが事業の回復の兆しも見えてきていますがコロナ前の状態までではありません。

厳しい状況が続きますが、継続した課題であります、新規会員の拡大、就業場所の確保を引き続き推進していくことが重要です。

少子高齢化が進む中、狭山市の65歳以上の高齢者人口は増加し高齢化率は10年前の平成24年の23%から令和3年は32%と進んでおり

ます。さらに、65歳の定年、70歳までの就業確保措置を講じることが努力義務となったこともあり、入会年齢も高くなっております。

高齢社会の今日、シルバー人材センターに向けられる地域社会の関心は大きくなっています。生きがい・社会参加、健康維持・増進、仲間づくりを目指して入会し、健康で働く意欲と能力のある限り年齢にかかわらず会員の皆様は元気に就業しております。

令和4年3月末現在会員数は1081名です。

公益社団法人となり10年目、そして設立40年の節目にあたり、シルバー人材センターが地域の日常生活に密着した公益社団法人として活動し、シルバー人材センターの原点である、自主・自立・共働・共助の基本理念の精神を尊重し、皆様に愛され、頼りにされ、信頼されるシルバー人材センターを目指して事業の拡大、発展に努めて参りたいと思っております。

引き続きご支援ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

会員の皆様、関係各位の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

祝辞



狭山市シルバー人材センター 設立 40 周年を祝して
狭山市長 小谷野 剛

この度は、狭山市シルバー人材センター設立40周年、誠におめでとうございます。

昭和57年8月に社団法人として会員に働く機会を提供することを通じて、会員の生きがいの充実や生活の安定、また、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目的として設立され、その後平成24年4月には公益社団法人として一層の飛躍を遂げられましたことは、ひとえに清原理事長様を始め関係者の方々のご尽力の賜であります。

また、日頃の事業においても長年培った経験と知識を十分に発揮され、地域社会に多大なる貢献を頂いていることに感謝申し上げます。とともに、広報さやまの發送業務をはじめ、地方自治法施行令の規定に基づいた市発注の各種業務委託について、計36の業務を令和3年度に請け負うなど、市の業務の一翼を担っていただいております。

近年、狭山市においても高齢化が進み、今では高齢化率が32%を超える状況となり、労働力人口の減少の更なる進行が見込まれる中で、令和3年4月から改正された高齢者雇用安定法に伴い、70歳までの就業機会の確保措置を講じる

ことが努力義務とされ、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要となっております。貴センターにおかれましては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、多様なニーズに応じた就業機会の確保につきましてより一層ご尽力いただければ幸いです。

結びに、貴センターの益々のご発展と会員皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



狭山市七夕の妖精 おりひひ



狭山市紋章

祝辞



狭山市シルバー人材センター 設立40周年を祝して

狭山市議会議長 太田博希

狭山市シルバー人材センターが節目の設立40周年を迎えられたこと、誠におめでとうございませす。心からお慶び申し上げます。

貴センターは、昭和57年の発足以来、高齢者の就業を通じた生きがいづくりを努められ、ここに大きな飛躍を遂げられましたことは、清原理事長様をはじめ歴代の関係者の方々のご尽力の賜物と深く敬意を表します。

さて、狭山市の高齢化率は、令和4年4月1日現在約32%となっておりますが、狭山市の高齢者は元気に多方面で活動する中で、樂しめる健康高齢社会を実現していただいております。

そして、貴センターは、基本理念である「自主、自立、共働、共助」のもと、会員が長年培ってきた経験や能力、知恵を活かし、各人の希望、知識などに応じた仕事をすることにより、生きがいを持つとともに魅力と活力ある地域社会づくりに寄与していただいております。

この狭山市が未来に向かってき

らに大きな発展を遂げるためにも、貴センターが今後も中心となり、高齢者の就業の機会、生きがいづくりに、より一層ご尽力いただくことに期待を寄せるものであります。

貴センターの会員の皆様は、人生の金メダリストであり、シルバー以上のまさにゴルドの輝きを放つ人材であります。これからも社会に貢献していただきますようよろしくお願いいたします。

市議会といたしましても、高齢者が就労を通じて生きがいを得られるよう、貴センターの運営を支援してまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。人生百年時代、高齢者が住み慣れた地域において、地域活動の担い手となり、生き生きと暮らしている姿をとにもめざしてまいります。

結びに、貴センターの益々のご発展と関係皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

祝辞



設立40周年を迎えて

公益財団法人いきいき埼玉理事長 永沢映

公益社団法人狭山市シルバー人材センター設立40周年を心よりお祝い申し上げます。

狭山市シルバー人材センターにおかれましては昭和57年に社団法人シルバー人材センター狭山市高齢者事業団として設立され、40年の長きにわたる歴史を築いてこられました。

その間、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の就業を支え福祉の増進に努めてこられました歴代の理事長をはじめ役員、会員の皆様に心から敬意を表します。

さて、一昨年来のコロナ禍にあつて、貴センターにおいても大変な御苦労をされてきたことと存じます。一方、シルバー人材センターは、シニアが働くことを通じて社会参加し、健康で生きがいのある生活の実現及び地域社会の福祉の向上と活性化という極めて重要な役割を果たしており、今後はますます期待が高まるものと思われまます。こうした状況の中、役員、役職員の皆様が一丸となった取組

により、より一層のご発展をさせていただけるものと確信しています。

埼玉県シルバー人材センター連合である当財団といたしましても、このような社会情勢の変化にも柔軟に対応し、貴センターをはじめ県内のセンターと連携し、シルバー人材センター事業の推進に力を注いで参ります。

結びに、貴センターの御繁栄と会員の皆様のますますの御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、設立40周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



シルバーイメージキャラクター
「チエブクロ」

40年の歩みを振り返って

2022年8月	2020年6月	2020年4月	2015年	2013年4月	2012年8月	2012年4月	2012年4月	2007年8月	2007年5月	2003年5月	2002年8月	2000年4月	1997年8月	1996年	1992年8月	1986年6月	1985年3月	1982年8月	
設立40周年を迎える	第6代理事長 清原英雄就任	親睦会活動再開	労働者派遣事業に本格的に参入	第5代理事長 池ノ谷一夫就任	設立30周年	事務所を現在(2022年)の狭山元気プラザ内に移転	公益社団法人へ移行	設立25周年	第4代理事長 永峰淳就任	第3代理事長 関口和夫就任	設立20周年	介護保険事業開始	設立15周年	シルバー人材センター連合(埼玉県)制度開始	設立10周年	第2代理事長 北田保男就任	事務所移転	総会 初代理事長 町田佐一就任	社団法人シルバー人材センター狭山市高齢者事業団設立

写真で見る歩み



1982年 シルバー人材センター発足時



1985年 シルバー人材センター移転



2012年 シルバー人材センター移転
(2022年現在の元気プラザ内)



1983年 12月5日 チャリティーバザー



1984年 7月25日 刈払機取扱い講習



1985年 11月 健康相談 (センターにて)



1988年9月 新会員研修



1988年10月 班長研修会視察(高崎市SC)



1992年6月 定期総会アトラクション



1986年9月6日 シルバー料理教室



1996年10月8日 ダンスパーティー(狭山市民総合体育館)



1996年10月 親睦旅行(静岡寸又峡)



1998年5月10日 ふれあい広場



1999年6月24日 全シ協大会(中野サンプラザ) 安全就業優良センター表彰



2000年度 地域班長会議



2000年 介護家事援助サービス会議



2006年 入間川七夕まつり



2019年 狭山市商工祭



2021年10月6日 元気プラザ構内除草



2022年2月 フレイル予防教室

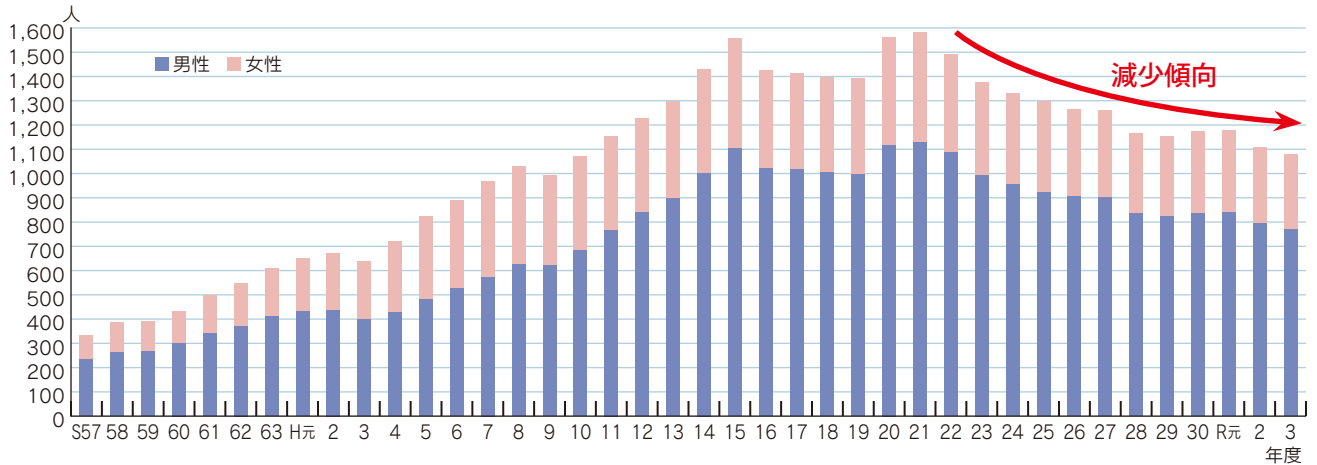


2022年4月3日 親睦会散策 天覧山頂上

資料で見る40年 会員数の推移 (各年度末現在)

(単位:人)

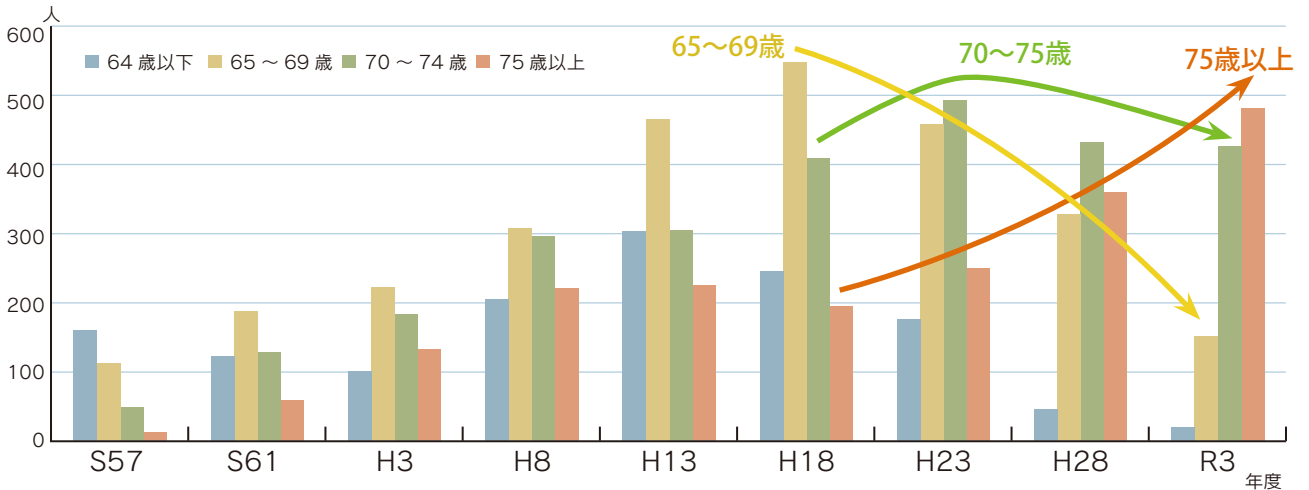
年度	男性	女性	合計	年度	男性	女性	合計	年度	男性	女性	合計	年度	男性	女性	合計
S57	233	102	335	H4	426	294	720	H14	1,002	425	1,427	24	956	376	1,332
58	261	124	385	5	481	345	826	15	1,103	455	1,558	25	922	375	1,297
59	266	124	390	6	526	365	891	16	1,021	406	1,427	26	906	360	1,266
60	302	130	432	7	573	393	966	17	1,018	394	1,412	27	902	359	1,261
61	342	158	500	8	626	404	1,030	18	1,003	395	1,398	28	835	332	1,167
62	371	175	546	9	621	374	995	19	997	396	1,393	29	823	331	1,154
63	410	200	610	10	682	391	1,073	20	1,118	442	1,560	30	835	341	1,176
H元	432	218	650	11	767	386	1,153	21	1,130	451	1,581	R元	839	338	1,177
2	438	233	671	12	840	387	1,227	22	1,087	406	1,493	2	794	317	1,111
3	398	242	640	13	896	403	1,299	23	994	383	1,377	3	768	313	1,081



資料で見る40年 会員の年齢別構成 (5年毎・各年度末現在)

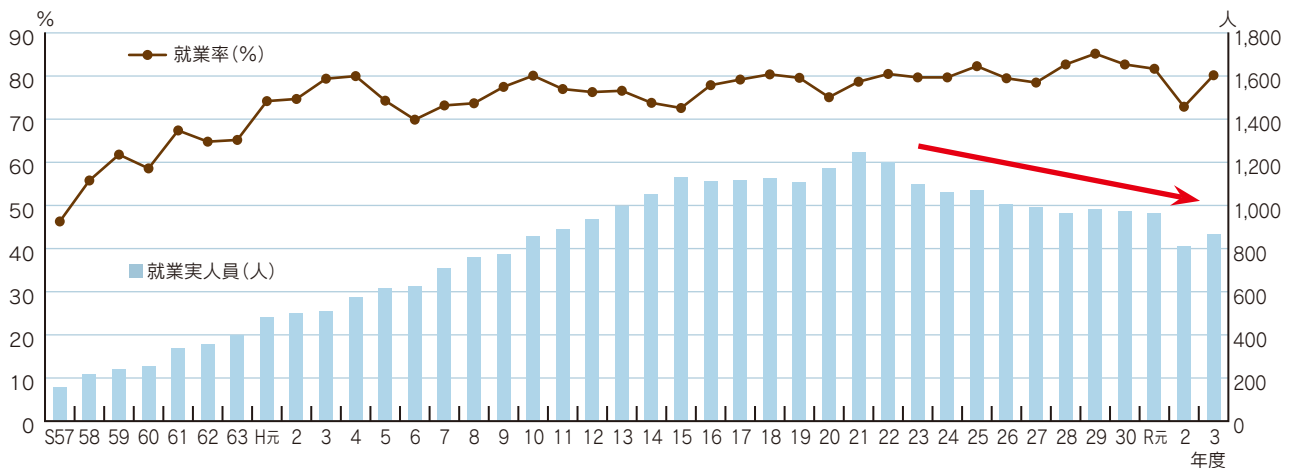
(単位:人)

年度	64歳以下	65~69歳	70~74歳	75歳以上	合計
S57	160	113	49	13	335
S61	123	188	129	60	500
H3	102	222	183	133	640
H8	205	308	296	221	1,030
H13	303	465	305	226	1,299
H18	246	548	409	195	1,398
H23	176	458	493	250	1,377
H28	47	328	432	360	1,167
R3	21	152	427	481	1,081



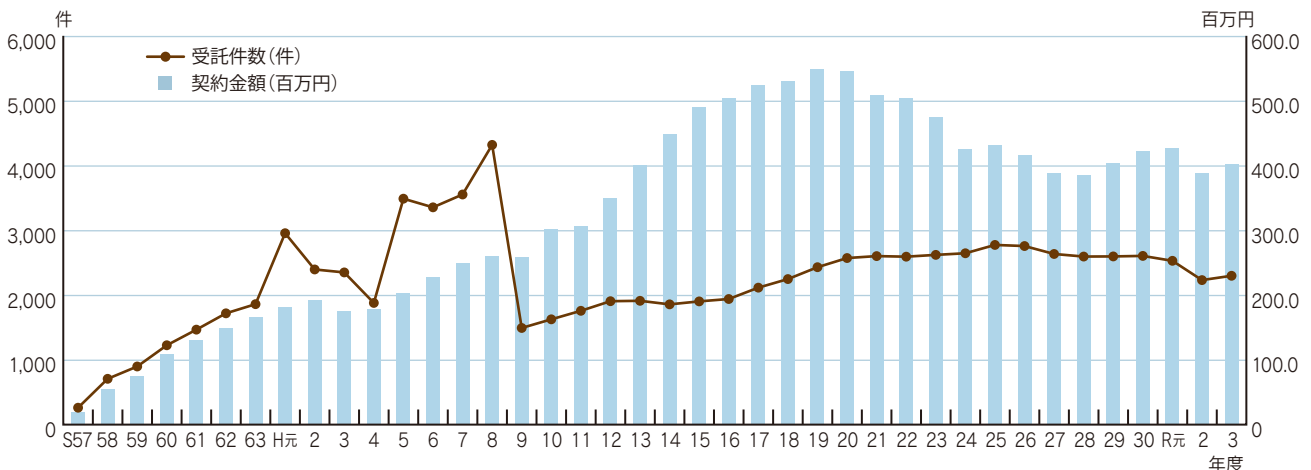
資料で見る40年 就業実人員と就業率 (各年度末現在)

年度	就業実人員(人)	就業率(%)	年度	就業実人員(人)	就業率(%)	年度	就業実人員(人)	就業率(%)	年度	就業実人員(人)	就業率(%)
S57	155	46.3	H4	576	80.0	H14	1,053	73.8	24	1,061	79.7
58	215	55.8	5	614	74.3	15	1,131	72.6	25	1,068	82.3
59	241	61.8	6	623	69.9	16	1,111	77.9	26	1,007	79.5
60	253	58.6	7	707	73.2	17	1,118	79.2	27	990	78.5
61	337	67.4	8	759	73.7	18	1,124	80.4	28	965	82.7
62	354	64.8	9	771	77.5	19	1,109	79.6	29	983	85.2
63	398	65.2	10	859	80.1	20	1,171	75.1	30	972	82.7
H元	482	74.2	11	888	77.0	21	1,244	78.7	R元	962	81.7
2	501	74.7	12	936	76.3	22	1,202	80.5	2	810	72.9
3	508	79.4	13	995	76.6	23	1,098	79.7	3	867	80.2



資料で見る40年 受託件数と契約金額 (各年度末現在)

年度	受託件数(件)	契約金額(百万円)	年度	受託件数(件)	契約金額(百万円)	年度	受託件数(件)	契約金額(百万円)	年度	受託件数(件)	契約金額(百万円)
S57	262	19.2	H4	1,886	177.8	H14	1,864	449.3	24	2,656	425.9
58	710	54.5	5	3,502	203.6	15	1,910	490.3	25	2,785	432.3
59	901	74.0	6	3,368	228.1	16	1,947	504.6	26	2,768	417.3
60	1,230	109.0	7	3,567	249.7	17	2,123	525.5	27	2,645	389.0
61	1,472	130.2	8	4,336	260.3	18	2,256	531.3	28	2,605	385.9
62	1,725	148.7	9	1,498	258.9	19	2,440	549.3	29	2,607	403.9
63	1,867	165.1	10	1,632	301.7	20	2,582	546.1	30	2,615	423.5
H元	2,967	181.6	11	1,764	307.4	21	2,612	510.2	R元	2,539	426.8
2	2,405	192.7	12	1,913	349.4	22	2,603	505.1	2	2,240	388.4
3	2,359	174.9	13	1,919	400.7	23	2,631	475.0	3	2,307	402.6





センター設立40周年、 資料から言える事、今後の課題と対応

狭山市シルバー人材センター事務局長 神山孝之

センターの発展にお力添いを寄せてくださいました関係機関の皆様並びに諸先輩会員の献身的なご支援に心から感謝を申し上げます。さて、当センターの課題を資料から見たとき、まず、会員の減少と高齢化が見て取れます。

現在、会員の平均年齢は74・7歳となっております。

本紙の中にも掲載させて頂いておりますグラフを見ますと、会員数の推移では昭和57年(1982年)の設立当初から右肩上がりが増加していましたが、平成22年(2010年)をピークに徐々に減少してきております。また、会員の年齢構成では、設立当初は64歳以下の会員が一番多くを占め、高齢になるにつれて減少していく状況であったものが、最近では75歳以上の会員が一番多くを占め、年齢が下がるにつれて減少してきているという当初と真逆の状態となっております。

この会員減少と高齢化の要因としては、高齢者の雇用の安定に関する施策として取組まれている継続雇用の義務化などのほか高齢者の就業機会の拡大等があげられます。

このような状況の下、会員拡大を図るためにはシルバー人材センター事業の魅力をもっと高め、男女を問わず健康で働く意欲のある方々に多様な選択肢を用意し一人でも多く入会して頂きたいと思っております。

次に、受託件数と契約金額の推移ですが、コロナ禍の影響による減少はあるものの近年は停滞傾向にあり、以前のような右肩上がりの状況ではなくなっております。会員数の減少による事業者数の減少から必然的に受託件数や契約金額の減少につながっていることもその要因と考えられます。

これを改善するためには先に述べたように、会員拡大を図るとともに魅力のある就業内容を開拓していくことが必要になると考えております。

また、センターにおける今日的課題であるインボイス制度への対応ですが、令和5年10月から消費税の仕入れ税額控除の方式として「適格請求書等保存方式」(インボイス制度)が導入されます。

インボイス制度が導入された場合、センターの会員は基本的に免税事業者であるためインボイスを

発行することができず、センターでは仕入税額控除ができなくなり、新たな税負担が発生します。センターでは税負担の財源が無いことから、その財源をどのように確保するか大きな課題となっております。対応策としては、料金を値上げして発注者に負担してもらるか、会員の配分金を引き下げるか、または、両者を合わせて財源を確保するなど考えられ、センターの運営にも大きな影響を及ぼすものとなっております。

以上のように様々な課題がありますが、会員の皆様の働きがい、生きがいの充実を目指し、総会及び理事会のもと事務局といたしましても「会員のための事務局」としてより良い運営を目指してまいります。

結びに会員皆様の益々のご健勝をお祈りするとともに、事務局に対する一層のご支援をお願い申し上げます。設立40周年に当たり職員を代表してのあいさつとさせていただきます。



設立40周年記念 編集後記

昨年の12月頃、「設立40周年記念」の話がありました。当初、ワーキンググループを結成し、小冊子を纏める等の話でした。その後、あまり大きさにせず、コンパクトにまとめるとの意見が主流となり、広報部会でとりまとめをする事になりました。

私は会員になって5年、広報部会員になって3年目。1年目は右往左往しており、実質活動は丸1年。シルバー狭山設立の歴史など全く判らず、設立30周年迄の膨大な資料を見せられた時は呆然としました。

1か月程、どの様に纏めるか思いを巡らしておりました。部会の中でも議論をしました。その結果、自分達が消化・理解できる様な纏め方をする事に決めました。

具体的には、理事長、狭山市市長等の祝辞の他、①簡単な年表を作ろう。②活動がどの様に行われてきたか、過去から現在までの写真と並べてみよう。③これまでの手持ちのデータを有効活用し、何が問題で何が課題かを明確にしよう。との3つ着目点で編集を行いました。出来上がったシルバー狭山153号(設立40周年記念号)は、誰もが抵抗無く見られる物に仕上がったと思います。一重に関連各位のご協力の賜物と深く感謝致します。

広報部会